第11回　Additive Manufacturing（AM）シンポジウム

主催：東京大学生産技術研究所　付加製造科学研究室

開催日時：2021年1月22日（金）　10:00～17:30

開催場所：ネットシンポジウム形式（発表者も参加者もネット参加となります）

参 加 費：無料

（但し、後日アンケートのお願いがございます。また、参加者確認のため事前登録制となります）

申込締切：2020年1月20日（水）　17時必着

募集人員：250名（当該ネット制限を超過した場合お断りする場合が御座います。早めのご登録をお願い致します）

開催趣旨：

2012年頃から始まった3Dプリンターブームから約8年が経過し、AM技術は本当に使えるのか？といった議論が､そこここで聞かれるようになってきております｡そこで今回のAMシンポジウムは、AM の使い方にスポットをあて、様々な角度から議論をしたいと思います。海外からのゲストはLouisville大学の元教授で、研究成果を事業化されたProfessor Brent Stuckerに金属AMのモデリングと予測の話を頂きます。また、AMにより補用品を作るときに生じる障害と解決方法についても議論したいと思います。

新型コロナ感染症拡大防止のため、今回のシンポジウムはオンラインで行いますので、お気軽にご参加ください。多数の方々のご参加をお待ちしております。

プログラム

2021 年 1 月 22 日（金）

司会　東京大学生産技術研究所　新野 俊樹

10:00-10:10　ご挨拶　東京大学生産技術研究所　所長　岸 利治

10:10-12:10　【基調講演】Modelling and prediction of metal powder bed fusion
」　Ansys Brent Stucker

昼食・休憩　12:10～13:00

13:00-13:30	金属 AM の活用方法について	GF マシニングソリューションズ㈱　小林 貞人
13:30-14:00	デジタルスペアの実現に向けた活動	東京大学生産技術研究所　新野 俊樹
14:00-14:30	製造	コニカミノルタ㈱　毛利 孝裕
	品質保証	㈱リコー　坂木 泰三
	設計	パナソニック㈱　中村 暁史
14:30-15:00	デジタルスペアに向けたマテリアライズの取り組み	マテリアライズジャパン㈱　小林 毅

休憩　15:00～15:30

15:30-16:00	FDM の実部品への適用	㈱ストラタシスジャパン　三森 幸治
16:00-16:30	自動車部品への AM の応用	遠藤 恭
16:30-17:00	AM 向け規格について	㈱UL ジャパン　有森 奏
17:00-17:30	マルチマテリアル AM について	東京大学生産技術研究所　森 三樹
17:30	クロージングリマーク	東京大学生産技術研究所　新野 俊樹

本年は、懇談会、展示会は実施いたしません。

以上

注：講演者、講演内容は、都合により変更になる場合がございます。
詳細は、ホームページでご確認下さい。
http://lams.iis.u-tokyo.ac.jp/